

## 3年2組 音楽科学習指導案

7月6日(金)第3限  
場 所：第2音楽室

1. 題材     ギターの響き  
教材     「アランプエス協奏曲」「きらきら星」「山の音楽家」
2. 目 標
  - ・良い音色作りを工夫して簡単なメロディーの曲を演奏することができる。
  - ・ギターの奏法を理解し、音色の特徴を感じ取って演奏を聴くことができる。
3. 題材の評価規準
  - (1) [ 音楽への関心・意欲・態度 ]
    - ・ギターの音色や響き、奏法の特徴や効果に関心を持ち、意欲的に器楽表現を取り組もうとしている。
  - (2) [ 音楽的な感受や表現の工夫 ]
    - ・ギターの音色や響きを感じ取り、奏法の特徴や効果を活かして表現の工夫をしている。
    - ・演奏を聴くことで、ギターの音色や響きの良さを感じ取っている。
  - (3) [ 表現の技能 ]
    - ・ギターの音色や響き、奏法の特徴や効果を活かして器楽表現する技能を身につけている。
    - ・曲想にあった音色で演奏することができる。
  - (4) [ 鑑賞の能力 ]
    - ・ギターの奏法などから、ギターの音色の特徴を聴き取っている。
4. 指導にあたって
  - (1) 教材 観

本校の器楽活動では、3年生でギターを取り入れている。1、2年次に先輩が授業で演奏している様子を見ているため、早く弾きたいという希望も多く、興味や関心を持って取り組める楽器のようである。また、自分の手元を見ながら演奏することができる楽器であるため、初めて触る楽器であるものの、1、2年で行ったリコーダーよりも、器楽に対する苦手意識が少なく、意欲的に取り組める楽器であると考え。今回は教科書通りに授業を進めると、左手の難易度が急激に上がるため、比較的簡単な1～3弦と1～3番までの運指で弾くことができる「キラキラ星」と「山の音楽家」の2曲を取り入れた。ポジションが限られているため右手のアポヤンド奏法にも気をつけながら演奏できると思われる。
  - (2) 生徒 観

のびのびとした雰囲気の中で授業が行われている。授業中での「気づき」が多く、気づいた点を発言したり、器楽の練習に意欲的に活かそうとする生徒が多く見られる。生まれて初めてギターを触るという生徒も多いが、ギターを弾くことに大変意欲的なクラスである。そのため、一人一人がギターの「いい音色」を自分なりに「好きな音」として理解している。これまでの活動でも、「いい音色」に近づけるように一人一人が工夫しながら意欲的に練習を行ってきた。
  - (3) 指導 観

はじめてギターを触る生徒も多いので、授業を通してギターの奏法の基礎をおさえつつ、鑑賞等を通じて感じた「好きな音」「いい音」で演奏することを意識しながら取り組ませたい。また、範奏を通して、自分の演奏と「見比べる」「聴き比べる」活動を行い、「どうやったらいい音が鳴るのか」「どうやったらうまく指が動くのか」など、自分で課題を見つけ、練習を工夫しながら取り組ませたい。

5. 指導計画（総時数8時間）

次時	学習活動	評価規準・評価方法等
第一次 1時限	「アランフェス協奏曲」を聴いて、ギターの色や奏法を知ろう	○ギターの音色の良さを感じ取りながら曲を聴いている (音楽的な感受・表現の工夫) ◇感想カード
第二次 4時 限	右手の運指練習をしよう	○i m aの運指で演奏する技能を身につけている (表現の技能) ◇観察・評価カード
	右手の運指に慣れよう	○アポヤンド奏法を意識して演奏している (音楽的な感受・表現の工夫) ◇観察・評価カード
	1本の弦で左手の運指練習をしよう	○1・2・3番のポジションを正しく押さえることができる (表現の技能) ◇観察・評価カード
	いろんな弦を使って左手の運指に慣れよう	○きれいな音色を意識してポジションを工夫しながら演奏している (音楽的な感受・表現の工夫) ◇観察・評価カード
第三次 2時 限	簡単な曲を弾いてみよう	○それぞれの音について正しい運指を理解して演奏している (表現の技能) ◇観察・評価カード
	きれいな音色を意識して曲を完成させよう	○曲想にあったテンポや音色で演奏している (音楽的な感受・表現の工夫) ◇評価カード・実技テスト ○きれいな音色を意識し、ポジションを確認しながら演奏している (表現の技能) ◇評価カード・実技テスト
第四次 1時限	自分の演奏と比べながら曲を鑑賞しよう	○ギターの奏法を理解し、音色の良さを聴き取っている (鑑賞の能力) ◇感想カード

6. 本時の学習（第3次の 1 / 2）

(1) 題 材

- ・簡単な曲をギターで演奏しよう 「きらきら星」(フランス民謡)  
「山の音楽家」(ドイツ民謡)

(2) ね ら い

- ・正しいポジションを確認しながら意欲的に練習することができる。

(3) 教師の支援

- ・細かい動きの部分を取り出し、反復練習をする。
- ・うまく押さえられない生徒には、上から補助的に指を押さえ、音が出やすい手の角度や位置を自分で確認できるようにする。

(4) 基礎基本の定着・学力の質の向上について

- ・基礎練習を確保し、正しい運指やポジションを確認することで、曲を練習する際に運指が混乱しないで練習できるようにする。
- ・運指表を掲示し、ポジションを確認しながら練習できるようにする。

(5) 本時の展開

学習活動(・)と予想される生徒の動き(○)	配時	教師の支援(・)と評価の観点・方法(◎)
<p>1. 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギターの準備</li> <li>・基礎練習 右手の運指練習NO. 1～NO. 3 左手の運指練習NO. 1 きらきら星の練習</li> </ul> <p>2. 本時の学習内容を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">「山の音楽家」を演奏してみよう</div> <p>3. 曲を練習する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「山の音楽家」を範奏する</li> <li>○「きらきら星」より難しそうだな</li> <li>・個人練習</li> <li>○何弦の何ポジションかな</li> <li>○左手は何指を使うかな</li> <li>○左手に気を取られて右手ができない</li> <li>○どうやったら上手く弾けるかな</li> <li>・ゆっくり全体で合わせてみる</li> <li>○細かい動きが難しいな</li> <li>○うまく押さえられないな</li> <li>○ゆっくりならできたぞ</li> </ul> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;">基礎基本の定着</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運指表を掲示し、ポジションを確認しながら練習する。</li> <li>・運指が分からなくなってきたら、基礎練習で確認する。</li> </ul> <p>4. まとめ・後片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後片付けをする</li> <li>・本時を振り返り、評価カードを記入する</li> <li>○もっとうまく弾きたいな</li> <li>・次時は自分で曲を選択し、良い音色を意識して練習することを伝える</li> </ul>	<p>5</p> <p>1 0</p> <p>5</p> <p>2 0</p> <p>1 0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大切に扱うように促す。</li> <li>・既習曲で左右の運指の確認をする。</li> <li>・練習につまずいている生徒には、個別に助言する。</li> <li>・学習内容を板書する。</li> <li>・タブ譜の読み方を確認する。</li> <li>・ポジションを確認しながら練習するように促す</li> <li>・運指が間違っていたら正しい運指をで弾くように助言する。</li> <li>・右手の i・m が難しい場合は、i だけを使って練習するように促す。</li> <li>・遅いテンポで練習するように伝える。</li> <li>・3の指を弾くときに1の指を残すと3から1の移動がしやすいことを伝える。</li> <li>・左手はできるだけ指を立てて押さえるように声をかける</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">◎正しいポジションを理解して演奏している (表現の技能) ◇観察・評価カード</div> <p>※ 評価規準に達していない生徒への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ポジションが分からない生徒には一緒にタブ譜を読みながらポジションを確認する</li> <li>●うまく押さえられない生徒には上から指を押さえ、音が鳴るように補助する。</li> <li>●自分のペースで練習し、完成させることよりも、楽しんで演奏することを助言する。</li> </ul>